

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		南街公民館事業費 [ 南街公民館事業 ]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社旗教育費	目	2	公民館費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館		課		南街公民館		係		課長名	佐伯 芳幸	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2-5-3		
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書(ページ)	35・110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				南街・桜が丘・向原地区に居住する市民の数(31年4月1日現在) → 公民館利用は地域制限はないが、近隣住民の人数とした。						
	② ①をどのような状態にしたいですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
地域で、学習の場に参加できる。				①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) → ③定期利用グループ数(2年3月31日現在)							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤南街公民館だよりの発行				①利用者連絡会等開催回数(利用連・利用懇) ②講座開催回数 ③イベント開催回数 → ④施設の利用率 ⑤南街公民館だよりの発行回数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	31,126	32,353	32,116					
	成果指標	②の数値	人	①	2,621	①	2,266	①	1,832		
				②	28,505	②	32,218	②	25,292		
③				109	③	119	③	102			
目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方 成果指標(②)が増加することを目標とする											
活動指標	③の数値	① 回	① 28	① 23	① 19						
		② 回	② 36	② 36	② 34						
		③ 回	③ 4	③ 4	③ 3						
		④ %	④ 68.66%	④ 70.65%	④ 70.94%						
		⑤ 回	⑤ 3	⑤ 3	⑤ 3						
3 経費	事業費(実績)		円	3,378,136	3,411,356	3,611,416		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	3,240,616	3,242,426	3,498,776					
		特定財源	円	137,520	168,930	112,640					
		(うち受益者負担)	円	137,520	168,930	112,640					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	16,506,000	16,488,000	16,620,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	19,884,136	19,899,356	20,231,416						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和46年度										
	(2) 環境の変化										
昭和46年6月に市内初の公民館として開館した。それまで、講座を市役所、学校、民間施設などで開催してきたが、社会教育活動の拠点となった。また、同年、美術会、写真愛好会、社交ダンスクラブ、手工芸連盟、茶道連盟が結成され、さらに、文化協会(7団体：花道、書道、手工芸、美術会、茶道、写真愛好会、社交ダンス)が結成された。市民の生涯学習の充実などを目的としている。施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。また、令和3年で開館50周年を迎えるにあたり利用者の高齢化がすすんでいる。											

事業名称	南街公民館事業費 [ 南街公民館事業 ]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	南街公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 公民館が有料化になる時期などについて時々問合せをいただいた。	
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
6 市民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：①②③⑤⑥ (市報・市HP・こうみんかんだより・地区館だより・フェイスブックなど)
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ( )
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 日ごろから利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために大切である。		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 生涯学習施設、地域活動の拠点としての公民館の本旨を利用者に伝えながら、個人の学習や満足に留まらず、人と人との繋がりや、継続した学びとなるように働きかけ続けて行く。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 窓口において利用者にまつり等への参加などを促し、人と人との繋がりや継続した学びとなるよう支援した。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 今後子どもから高齢者まで多くの方が継続した学びができるよう、より利用しやすい公民館運営を心がけていきたい。	
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 主催講座や、利用者懇談会、グループ活動講習会など利用者と直接関わる場、機会を大切にしながら継続して積極的にコミュニケーションを図る。 ポスターなどの掲示物等で常に目に触れられるようにする。 主催講座から新たなグループづくりができるように取り組んでいく。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 日ごろから情報収集などを行い魅力ある講座や事業を実施し、各事業への参加者の数を増やすと共に、公民館利用の経験が浅い方にも参加してもらえるようにPR方法の改善や、各事業のテーマ設定も考えていく。	